

第2学年 英語科学習指導案

日時 : 令和元年6月4日(火)
6校時(13:35~14:20)
場所 : 中学2年教室
対象 : 中学校2年生 27名
実習生 :
指導教員 :

1. 教科書・教材名 : New Horizon 2
2. 単元名 : Unit 3 Career Day (pp.32-49)
3. 要旨
(1)教材観

本単元では、職業体験がテーマとなっている。ここでは職業体験先で目にする注意書き、職業体験についての対話、そして、報告のレポートと多様な形式の英語の文章にふれることができる。職業体験を通して感じたことや将来の夢などについて書かれた会話やまとまりのあるレポートを読むことで、自分が実際に職業体験に行く際の心構えもできると思われる。言語材料として、to不定詞の副詞的用法・名詞的用法・形容詞的用法を扱っている。to不定詞は、理解が難しく英語に対する苦手意識が出てくる項目の一つであるが、実際には、使えるようになると表現の幅が広がり非常に便利な文法項目である。そのため、生徒たちがto不定詞の3つの用法を難しいと感じないように授業を展開したい。教師による長い説明は控え、生徒達にto不定詞は情報を付け足す役割であることに気づかせ、パターンプラクティスやアクティビティなどを通して、できるだけたくさん英文を作らせながら、感覚で理解できるように指導したい。

(2)生徒観

本学級の生徒の大半は小学校から英語教育を受けてきているため、英語の基礎力がついており、英語を使おうとする意欲が高いと思われる。さらに、学習態度が非常によく、活動をする時と先生の話聞く時の切り替えができ、けじめがついている。中には、英語に苦手意識を持っている生徒もいるが、そのような生徒達もアクティビティなどの活動に積極的に参加していることから、概ね学級全体が楽しく授業に参加していることがわかる。そのため、to不定詞の理解を深めるためにも、できるだけ多くアクティブ・ラーニングをさせたい。また、お互いに教え合ったり、間違いを指摘し合ったりと、学級全体としてお互いをフォローし合う温かな雰囲気を持っている。そうした学級の特徴を生かし、ペアワークやグループ活動を取り入れ、お互いが学び合えるような環境を作りたい。また、発音

記号を用いた指導に慣れていることから、正しい発音をしようとする意識が高いため、発音に意識を向けた音読やシャドーイング練習をさせたい。

(3)指導観

to 不定詞は、一般的に英語学習者が苦手意識を持ちやすい文法事項であるため、先生が一方的に文法の説明をするのではなく、導入からオーラルイントロダクションを通して、新しい文法構造に気づかせるように工夫したい。また、生徒たちの積極性を生かし、英文を見て理解するだけでなく、自分たちで to 不定詞を使った文を作り出せるように、リスニングやスピーキング、そしてライティングのアクティビティを取り入れる。更に、理解に時間がかかる生徒も生徒同士の学び合いを通して、習得できるようペアワークを取り入れる。本文に関しては、英文を読み、内容理解をするだけでなく、何度も音読することで、英語の表現に馴れ親しみ、自分の言葉で内容を再現できるようにしたい。加えて、きれいな発音で音読することを意識している生徒も多いため、音読の際には、発音に関して気づいたことがあれば指摘したい。単元の最後では、自分の行きたい国について、本単元で学習した英語表現を使い、論理的でまとまった文章を書き、発表できるようにすることを目指したい。

4. 指導計画

1 時間目	to 不定詞の副詞的用法 及び、3-1 の本文理解 【本時】
2 時間目	to 不定詞の副詞的用法 アクティビティ
3 時間目	to 不定詞の名詞的用法
4 時間目	3-2 の本文理解
5 時間目	to 不定詞の形容詞的用法
6 時間目	3-3 の本文理解
7 時間目	3-4 の本文理解
8 時間目	3-5 activity 1 and 2

5. 本時の指導目標

- ・ to 不定詞の副詞的用法を理解し、自分で to 不定詞の文を作り、話すことができる。
- ・ 本文の「注意書き」の内容が理解できる。

6. 本時の展開 (45分)

過程	学習活動と内容	指導上の留意点 (教師の役割)
導入 十分	<p>1.Greeting</p> <p>2.Warm-Up “What did you do last Sunday?” ペアで会話をする。数人に尋ねる。</p> <p>3.Oral Introduction to 不定詞副詞的用法の導入 I went to Lucua. I went to the first floor to buy a hat. 等</p>	<p>会話ができていないペアには、声掛けをして、会話ができるように手助けする。</p> <p>デパートの館内図を使い、先生が何を言っているか、想像しやすいように英語で話す。</p>
展開 三十三分	<p>4.to 不定詞副詞的用法の説明</p> <p>5.Pattern Practice パワーポイントのイラストを見ながら、to 不定詞の入った文を口頭で言う練習。</p> <p>6.Activity “Guess What?” ①先生が出す to 不定詞の入ったヒントを基に何について言われているのかを当てる。 ②to 不定詞が入ったヒントを一緒に考える。 ③ペアでクイズを出し合う。 ④数人に作ったヒントを発表してもらう。</p>	<p>説明はできるだけ簡潔にする。</p> <p>生徒たちが to 不定詞を使った表現に慣れるよう丁寧に言う。</p> <p>To 不定詞を入れた文を使ったヒントをどのように作ればよいかわかるように、段階的に活動を発展させていく。</p>
まとめ 二分	<p>7.本文理解 ①本文内の to 不定詞を探す。 ②注意書きの意味を確認する。 ③本文を読む。</p> <p>8.クラス全員で学校に来る目的について、to 不定詞を使って英語で表現する。 We go to school to study.</p>	<p>本文は分量が少ないので、to 不定詞の部分がわかるように導く。</p> <p>本文を読むときは、発音に注意する。</p> <p>全員で声を合わせて英文を言い、一体感を持って終わる。</p>

7.評価

- ・ to 不定詞の副詞的用法を理解し、自分で to 不定詞の文を作り、話すことができたか。
- ・ 本文の「注意書き」の内容が理解できたか。

8.板書計画

目標 : to + 動詞の原形を使えるようになるろう !		
I went to the 1 st floor to buy a hat. to+ 動詞の原形 「~するために」 I went to the 10 th floor to eat lunch.	<u>A. watch</u> . . ・ What is it?	<u>A. bus</u> . . ・ What is it?
We go to school to study!!		

9.準備物

- ・ 教科書 ・ スクリーン ・ プロジェクター ・ パソコン ・ ワークシート

10.添付資料

- ・ ワークシート student A / student B